

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 いわき市立小名浜第二中学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	いわき市立小名浜第二中学校 全校生徒 第1学年96名、第2学年112名、第3学年102名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	車椅子バスケットボール日本代表候補の森谷幸生さんを招き、これまでの経験に基づいた講話を頂きながら、実際に車椅子バスケットボールを見たり、体験したりすることで車椅子バスケットボールにおける興味・関心を高める。
5 取組内容	<p>【講演】 13:25～14:15 演題 「車椅子バスケットボールについて知ろう」 講師 森谷 幸生 様 (いわき市出身 NO EXCUSE 所属)</p> <p><内容> (1) 車椅子バスケットに出会った経緯 (2) 現在の練習状況や取り組み (3) 困難や壁に当たった時の考え方 (4) 実演・生徒体験</p>   

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講話を聴くことによって、トップアスリートの考え方や生活についての理解を深めることができた。 ○ 実際に技能を見ることで障がい者スポーツに対する見方や考え方が変わる生徒が見られた。 ○ 生徒たちが実際に体験を行うことで、車椅子バスケットやパラリンピックに対する興味・関心が高まった。 ○ 地元出身の選手を招いたことで、地元に対して誇りをもつことができたと感じる。 ○ 全校生徒で行うことで、学校全体でオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める雰囲気づくりができた。 
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒たちに車椅子バスケットへの興味・関心を高めるために実際に技能を見せたり、体験させたりできる内容にした。 ○ オリンピック・パラリンピック教育として、事前に福島県出身選手や開催場所、障がい者アスリートに関して調べ活動を行った。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時間と場所に余裕があれば、全校生徒に様々な障がい者スポーツ体験をさせることができればさらに生徒の興味・関心は高まったと感じる。 ○ 今後は保健体育だけでなく、他の教科においても横断的に指導ができるとさらにオリンピック・パラリンピックに関する興味・関心が高まると感じる。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業を受けて、2021年に開催予定の東京オリンピック・パラリンピックに対する意識が高まるように、他教科においても指導できる体制を整えていきたい。